

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月26日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6210 URL <https://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田畑 禎章
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 酒井 雅人 (TEL) (078)942-2345
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,043	7.3	660	△8.0	781	△2.5	429	△4.3
2022年3月期第2四半期	15,876	62.3	718	—	801	—	449	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,050百万円 (43.8%) 2022年3月期第2四半期 730百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	20.94	—
2022年3月期第2四半期	21.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,736	20,325	61.0
2022年3月期	31,133	19,627	62.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,972百万円 2022年3月期 19,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.50	—	17.50	25.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	0.1	740	△58.0	960	△51.3	620	△51.4	30.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー 社（社名） 、除外 ー 社（社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	20,703,000株	2022年3月期	20,703,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	177,331株	2022年3月期	189,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	20,518,984株	2022年3月期2Q	20,552,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症により停滞した経済活動が回復基調にありましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰、欧米におけるインフレ加速に伴う政策金利の引き上げ、中国でのゼロコロナ政策による経済活動抑制の影響など、先行きの不透明感が継続しております。わが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と行動の制限緩和の両立が進み、社会経済活動が正常化へと向かった一方で、急激な円安による為替相場の変動、エネルギー資源や原材料価格の高騰、半導体をはじめとする部材需給の逼迫などにより、依然としてサプライチェーンの混乱は続き、景気の先行きは不透明感を増している状況で推移しました。

当社グループの事業に関連する市場におきましては、業界の設備投資意欲は、国内・海外共に回復しており、需要は堅調に推移しておりますが、主要部材の供給制約に伴う部材の調達難や価格高騰、エネルギー価格やコンテナ不足に伴う物流費の上昇など、コスト面で不安定な状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は18,004百万円(前年同四半期比0.3%増)、売上高は17,043百万円(同7.3%増)となりました。このうち、国内売上高は4,462百万円(同22.9%増)、海外売上高は12,580百万円(同2.7%増)となり、海外比率は73.8%となりました。利益につきましては、売価改善に努めましたが、部材仕入価格の高騰や長納期化に伴う生産操業度の悪化、継続する海上輸送費などの諸経費の値上がりの影響を受け、営業利益は660百万円(前年同四半期比8.0%減)、経常利益は781百万円(同2.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は429百万円(同4.3%減)となりました。

製品別の売上の状況は、以下の通りです。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、国内は自動車部品関連、日用雑貨や容器類などの生活用品関連が増加しました。海外におきましては、中国でのIT電子機器や医療機器関連の小型機が減少しましたが、アジアでの自動車関連や米国や欧州における生活用品関連の中大型機が増加しました。この結果、受注高は14,321百万円(前年同四半期比10.4%増)、売上高は13,138百万円(同4.1%増)となりました。このうち、海外売上高は9,715百万円(同2.0%減)となり、海外比率は73.9%となりました。

[ダイカストマシン]

ダイカストマシンにつきましては、受注は国内、海外共に減少しましたが、国内は自動車関連の売上が増加しました。海外におきましては、中国や東南アジアでの自動車関連が増加しました。この結果、受注高は3,682百万円(前年同四半期比25.8%減)、売上高は3,905百万円(同19.8%増)となりました。このうち、海外売上高は2,865百万円(同22.7%増)となり、海外比率は73.4%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,859百万円増加しました。これは、主に現金及び預金の増加1,111百万円及び棚卸資産の増加941百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて257百万円減少しました。これは、主に繰延税金資産の減少140百万円及び有形固定資産の減少52百万円があったことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,072百万円増加しました。これは、主に未払法人税等の減少78百万円があったものの、仕入債務の増加751百万円及び前受金等を含むその他流動負債の増加442百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて168百万円減少しました。これは、主に長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替による減少100百万円及び退職給付に係る負債の減少70百万円があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて698百万円増加しました。これは、主に配当を行ったことによる利益剰余金の減少358百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加429百万円及び為替換算調整勘定の増加591百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高は海外・国内経済の回復を背景に成形機の需要が堅調に推移していることから、概ね予想通りに推移することが見込まれます。しかし利益面におきましては、部材調達環境は想定以上に悪化しており、部材仕入価格が大幅に高騰することが見込まれます。さらに長期化する部材供給不足に伴う生産効率の悪化により、原価率が上昇する見込みです。これらの動向を踏まえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を前回予想から修正いたします。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,500	1,850	2,000	1,300	63.37
今回発表予想 (B)	33,300	740	960	620	30.21
増減額 (B - A)	△200	△1,110	△1,040	△680	
増減率 (%)	△0.6	△60.0	△52.0	△52.3	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	33,273	1,759	1,970	1,276	62.18

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,143	8,255
受取手形及び売掛金	5,275	4,849
電子記録債権	2,171	2,588
商品及び製品	2,917	3,377
仕掛品	2,926	3,341
原材料及び貯蔵品	777	843
その他	1,448	1,262
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	22,651	24,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,999	3,946
機械装置及び運搬具（純額）	1,564	1,423
工具、器具及び備品（純額）	94	99
土地	780	780
リース資産（純額）	11	9
建設仮勘定	111	249
有形固定資産合計	6,561	6,508
無形固定資産	507	487
投資その他の資産		
投資有価証券	980	931
繰延税金資産	385	244
その他	47	51
投資その他の資産合計	1,412	1,228
固定資産合計	8,482	8,224
資産合計	31,133	32,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,868	4,335
電子記録債務	1,028	1,313
短期借入金	1,100	1,100
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払費用	712	705
未払法人税等	215	137
未払消費税等	40	8
製品保証引当金	60	63
役員賞与引当金	20	13
その他	1,556	1,999
流動負債合計	8,803	9,875
固定負債		
長期借入金	460	360
退職給付に係る負債	2,221	2,151
役員株式給付引当金	4	7
その他	17	16
固定負債合計	2,703	2,535
負債合計	11,506	12,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,385	2,389
利益剰余金	13,953	14,024
自己株式	△36	△34
株主資本合計	18,809	18,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	78
繰延ヘッジ損益	△0	△6
為替換算調整勘定	388	979
退職給付に係る調整累計額	32	35
その他の包括利益累計額合計	516	1,086
非支配株主持分	301	352
純資産合計	19,627	20,325
負債純資産合計	31,133	32,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	15,876	17,043
売上原価	12,545	13,544
売上総利益	3,331	3,498
販売費及び一般管理費	2,612	2,837
営業利益	718	660
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	9
固定資産賃貸料	33	33
為替差益	70	53
助成金収入	0	0
持分法による投資利益	—	21
その他	8	12
営業外収益合計	124	131
営業外費用		
支払利息	3	2
支払手数料	1	1
固定資産賃貸費用	4	4
持分法による投資損失	30	—
その他	2	3
営業外費用合計	41	11
経常利益	801	781
税金等調整前四半期純利益	801	781
法人税、住民税及び事業税	247	196
法人税等調整額	100	141
法人税等合計	347	337
四半期純利益	453	443
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	449	429

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	453	443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△17
繰延ヘッジ損益	10	△6
為替換算調整勘定	209	585
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	19	42
その他の包括利益合計	277	607
四半期包括利益	730	1,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	725	999
非支配株主に係る四半期包括利益	5	50

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。